

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。掲載申込みの詳細は、市HPをご覧ください。
 広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

6月1日号への掲載の申込みは、
4月21日(金)までに電子申請

(電子申請がご利用い
ただけない場合は、申
込用紙を広報情報課
FAX 983・2719)



電子申請はこちら▶
(<https://logoform.jp/form/pqff/143867>)

※「電子申請」からお申込みください。

広報みしま	締切日
7月1日号	5月26日(金)
8月1日号	6月23日(金)
9月1日号	7月21日(金)

※掲載基準などの詳細は
市ホームページ▶



文化

フォトアート三島 第27回写真展

☎4月19日(水)～23日(日)午前9時～午後6時(最終日は午後4時まで) ☎生涯学習センター3階・市民ギャラリー☎第27回写真展を開催します。ご来場の皆さまの安心・安全を守るよう感染予防を実施します。皆さまのご高覧を心からお待ちしています。☎無料☎斎藤 ☎971・2791

三島フラウエンコール 団員募集

☎毎週水曜日☎市民文化会館・練習室ほか☎女声コーラスグループとして毎週活動しています。初心者大歓迎です。仲間と奏でるハーモニーを楽しみましょう。(体験入団、随時受付) ☎月5,000円(運営費、演奏会の積立など) ※別途、楽譜はその都度購入☎女性(年齢不問) ☎・☎団代表・川瀬 ☎090・9941・6542

琴城流大正琴 伊豆琴慧会おさらい会 2023

☎5月14日(日)午後0時30分～3時45分 ☎市民文化会館・小ホール☎伊豆琴慧会の全会員による2部構成の演奏会。第1部「東日本めぐり」、第2部「西日本めぐり」とし、13曲ずつ歌謡曲をアンサンブル演奏します。☎無料☎神田 ☎080・2621・4831

スポーツ・健康

太極拳で健康に

☎毎週1回1時間30分程度(希望により午前・午後・夜間あり) ☎市民体育館など☎軽い健康体操と太極拳☎月約2,000円☎先着10人程度☎軽い運動ができる服装、体育館シューズ、飲み物など☎・☎4月10日(日)から三島市武術太極拳連盟事務局・鈴木 ☎090・4251・4749 ☎ajidapodoi@uqmobile.jp

三島市ソフトテニス協会 春季ソフトテニス教室

☎4月12日～6月28日(毎週水曜日) 午後6時30分～8時30分 ☎市民体育館・文教テニスコート☎小学生以上☎4,000円(10回) ☎ソフトテニスラケット、シューズ☎4月12日(日)午後6時よりコート入口で受付☎大庭 ☎080・2615・6911

三島市バドミントン協会 初心者バドミントン教室

☎5月～令和6年4月各土曜日(全30回) 午後7時～9時 ☎市民体育館☎老若男女問わず技術に応じて講師が指導を行い、身体能力向上とバドミントン競技の普及を目指します☎1万8,000円(年会費、初回払い)☎中学生以上☎先着40人☎ラケット(貸出あり)、靴☎4月15日(日)より三島市バドミントン協会HPにて受付開始☎三島市バドミントン協会高井 ☎090・7045・3016

三島市アーチェリー協会 アーチェリー春季初心者講習会

☎5月14日～6月4日毎週日曜日午前9時30分～正午 ☎市民体育館・弓道場☎3,000円(保険料含む) ☎中学生以上☎先着6人☎・☎4月11日(火)～29日(土・祝)の間にアーチェリー協会・大木 ☎090・2571・9480

子供陸上練習募集「年長から小学生対象の陸上運動や競技練習の基本」

①ゆめアスリ②三島陸上JC ※大会参加あり☎①毎月2回各土曜日午前10時～11時②毎週土曜日午前9時～正午 ☎日本大学御園グラウンド☎年会費①1万2,000円②1万8,000円(別途入会金5,000円)☎①年長～小学3年生②小学1～6年生☎運動ができる服装、タオル、飲み物など ☎雨天中止☎・☎三島市陸上競技協会・西尾 ☎947・2838 (午後5時～8時)

その他

伊豆八十八札所ウォーキングの会 会員募集

☎4月12日(日)午前6時※雨天中止☎三島駅北口(集合)、伊豆・下田☎伊豆半島にある寺を月1回・第2水曜日に約2年でウォーキングする。全長約500km。往復は小型バスを利用☎バス代金5,000円☎20人☎弁当、雨具、帽子、タオル☎中村 ☎975・0328☎後藤 ☎090・8956・9990

国際ソロプチミスト ユースフォーラム代表学生選考会 「応募してみませんか」

☎5月20日(日)午後1時～3時 ☎ホテルサンバレー富士見☎テーマ「日本の伝統文化 学び・つなぐ」に沿った論文提出(1,200字程度) ☎高校生(女子) ☎4月26日(日)までに ☎411・0044 徳倉5・9・57 ☎梶谷 ☎987・6960

歴史小箱

地区の歴史—松本

No.418

楽寿園内の郷土資料館では、企画展「三島ゆかりの文化人たち」を開催中！（5月28日(日)まで）

郷土資料館（楽寿園内） ☎971-8228

北上・中郷・錦田地区の旧村を不定期で紹介してきました「地域の歴史」シリーズは、このたび最終回を迎えます。最後となる今回は、中郷地区に位置する松本について紹介します。

松本は境川東岸に位置し、北に平田、東に梅名・安久、南に御園、西に長伏が接しています。その地名の由来については二説あり、松の樹があったためとする説、松本姓の人が住んでいたためとする説が伝えられています。

戦国時代の古文書には「下松本」という地名が見え、江戸時代の古文書にも「上松本」「下松本」の名が見えるので、はじめ一村であったものが、いつのころか二村に分かれたようです。上・下ともに江戸時代に幕府領となりますが、十九世紀半ばに小田原藩領に移されて、幕末に至りました。

明治十一年（一八七八、あるいは明治十五年とも）に上松本・下松本の二村は合併し、再び一

村に戻ります。明治二十二年には町村制施行により周辺十五村と合併して中郷村が成立し、松本はその大字の一つとなりました。さて、県道一四〇号沿いに位置する松本公民館の隣には、上・下松本村の土地神を祀る高橋神社が鎮座しています。

この神社がいつからあるのか不明ですが、平安時代成立の法典『延喜式』には、伊豆国田方郡内の神社として「高橋神社」の名が見られ、この神社がすなわち現在の高橋神社のことを指すと推測されています。

祭神は、明治時代成立の『増訂豆州志稿』という地誌の中では不詳とされていますが、現在境内に建てられている看板では、磐鹿六鴈命と記されています。この神様は、古代の豪族、膳氏の遠祖と伝えられ、膳氏は大化前代に天皇や朝廷の食膳の事に奉仕した氏族です。その本流は、七世紀末に高橋氏へと改姓しました。

これら、社号と平安時代以前の創建という可能性から、古代、松本の辺りに高橋氏の一族が住んでおり、その氏神として建てられた社が高橋神社なのではないかとい

う説が示されています。一方で、昔この地に高く架けた橋があったことから高橋神社の名が付けられたという話も伝わっていて、正確なところはよくわかりません。

現在、公民館脇の参道を進んだ先に広がる境内には、正面に本殿、脇に木造の祠二前を確認できます。祠には、熊野神社・山神社がそれぞれ祀られており、山神社の祠には「奉納御山神社守護処／上松本村」と刻んだ石碑が安置されています。本殿には、寛永元年（一六二四）十二月の棟札（築造・修理の際などに棟木に打ちつける板）が遺り、その築造年代は江戸時代にさかのぼるようです。本殿前には四基の石灯籠が並び立ち、そのうちの一基には元禄十三年（二七〇〇）九月十九日の日付が刻まれていて、本殿とともに江戸時代の松本村の様子的一端を今に伝えるものとなっています。



▲高橋神社

ぼくのおじいちゃん
おばあちゃん

当番 たしろ えいと さん

ぼくのおじいちゃん、戦国時代や戦争のころなどの話をたくさんしてくれまして。それを聞いて、ぼくは歴史に興味を持つようになりました。また、いっしょにしようもしてくれて、楽しいです。

おばあちゃんは、いつもいっしょに遊んでくれます。バドミントンをやってくれます。ぼくが話をすると、ちゃんと聞いて、質問にはやさしく答えてくれます。

二人とも、ぼくにとてもやさしく接してくれます。これからも、元気に長生きしてほしいです。



田代育弘 (77才) たつ江 (70才)
田代 瑛士 (西小 6年)